平成３０年度　「世界とつながる島根づくり助成金」交付事業一覧

①事業概要 ②実施場所 ③実施時期 ④助成額 ⑤その他

整理番号	事業名	団体名	概要
1	在住外国人と地域住民の日本語交流活動	日本語教室グループ「あいうえお」	①地域で日本語教室を開講し、日本語指導の他、交流イベントを開催した。 ②隠岐の島町 ③通年 ④155,000 円 ⑤学習者の生活の様々な場面で日本語学習の成果が見られる。但し、ボランティアが減ったので、十分な対応ができるよう、教室活動ができるボランティアを増やしていきたい。
2	日本語学習者のための学習支援	しまね日本語支援協会	①日本語「慣用句」の教材編纂を平成28年度から続けているが、今年度のテーマは四季に関する慣用句や行事を取りあげた。 ②松江市 ③通年 ④53,000円 ⑤指導者の工夫で多様な使い方ができる教材なので、県内の日本語ボランティア団体にも広く使っていただきたい。来年度も引き続き第4集の作成を考えている。
3	日本語教育事業	出雲日本語ネットワーク	①地域で日本教室を開講し、学習者の希望に沿った日本語指導を行い、日本人と外国人及び外国人同士の相互理解に努めた。 ②出雲市 ③通年 ④52,000円 ⑤各レベルにあわせた個別指導なので、学習者の中には日本語検定3級・2級に合格者がでるなど、日本語の向上につながっている。ただ、不定期に参加する学習者のためにも、臨機応変に対応できるボランティアを確保したい。
4	日韓交流オーケストラ事業 （日韓交流コンサートフェスティバル）	日韓交流オーケストラ事業実行委員会	①韓国安東大学の学生を中心とする｢ノーブルポップスオーケストラ」が初来日し、「T・オアシスanオーケストラ」、「島根大学吹奏楽部」と交流演奏会を行なう他、韓国紹介のスライド上映を行った。また、安来節保存会の参加を得て、安来節、銭太鼓、どじょうすくいなど郷土芸能を体験した。 ②松江市 ③平成30年4月6日 ④200,000円 ⑤同年代の島根大学の学生の参加は思った以上に演奏でも話題でも盛り上がりを見せ、音楽・芸能を通してお互いの国の文化を知ることができた。また、韓国からは、今年10月の安東市文化芸術の殿堂でのステージ出演依頼も届くなど展開があった。
5	日本語で話そう 教室活動と異文化交流事業	マリントークの会	①地域で日本語教室を開講し、日本語指導や交流活動を行った。また、指導者育成のための勉強会を開催した。 ②浜田市 ③通年 ④100,000 円 ⑤教室活動も充実しており、日本語能力検定試験の合格者もでている。課題としては、会場確保が難しく、毎週同じ場所で授業ができないことや、会員数の不足がある。今後も県立大学生の参加も働きかけていきたい。

整理番号	事業名	団体名	概要
6	ブラジル学生支援プロジェクト	Queridos Amigos (ｹﾘｰﾄﾞｽ　ｱﾐｰｺﾞｽ)	①ブラジルから陶芸家を志す2名の学生を招き技術指導を行なう一方、稲刈りや生け花教室に参加したり、小学校で絵付け指導をするなど、多方面にわたり地域住民と交流をした。 ②美郷町他 ③平成30年9月～11月 ④141,000円 ⑤経費負担が大きく、来年はクラウドファンディングを早目に立ち上げ資金を確保したい。ブラジルでは研修希望者が沢山おり、引き続き受入れをしていきたいが、ブラジル以外の国からもひとり参加してもらいたいと考えている。
7	社日日本語教室	社日日本語教室	①地域で日本語教室を開講し、学習者が教室に通うことや催しに積極的に参加することでコミュニケーション能力が高まるよう配慮した。 ②安来市 ③通年 ④44,000円 ⑤学習者の能力レベルにあわせて細やかに指導することが難しい時もあり、今後指導方法を検討する必要がある。今後増えるであろう学習者の皆さんの読み書き、日常生活などの助けになれるよう、スタッフで努力していきたい。
8	伊野国際ワークキャンプ	出雲市伊野地区自治協会	①外国人青年と日本人青年を受入、ホームステイや子どもたちとの交流、また、りんごん山、秋葉山の遊歩道整備を行なうなど、地域ぐるみで国際ワークキャンプを行なった。 ②出雲市 ③9月3日～9日 ④38,000円 ⑤子どもと外国人青年達との交流に十分な時間をとることができたが、その他の人との交流が少なかった。今後も継続して、多文化共生のまちづくりを進めるため、あらゆる年代が参加できるしかけを作っていきたい。
9	日本語教室	日本語ボランティアゆうわ	①地域で日本語教室を開講し、日本語指導や学習者が日本の伝統文化に触れる交流活動を行った。 ②出雲市 ③通年 ④140,000 円 ⑤ここ数年で初めて学習者数が減少したが、多彩な外国人住民が毎回集まる。教室活動を通じて、お互いのコミュニケーションを深め、地域の方との交流を図ることにも努めている。
10	ＡＦＳ留学生体験交流事業-島留学と海外留学その魅力を探そう-	（公財）ＡＦＳ日本協会松江支部	①隠岐での暮らしや隠岐ユネスコ世界ジオパークについて学習し、地元の方々と交流しながら異文化体験を行った。 ②海士町、西ノ島町 ③8月6日～8日 ④90,000 ⑤2回目の隠岐事業だったが、地元の皆さんの温かい支援なしではできなかった。今年は海士町に「島留学」している親子との意見交換会を企画したが、今後は地元の中・高生と一緒に活動できる機会となるように工夫してみたい。

整理番号	事業名	団体名	概要
11	国際交流デーINきすき2018「音楽×人×日本文化(神楽）」	木次町国際交流協会	①伝統文化「神楽」をキーワードに文化体験交流事業を実施した。また、2週間後に開催される予定だった「第10回さくら英語スピーチコンテスト」出場者2名も本番さながらにスピーチの披露があり、温かいエールがおくられた。 ②雲南市(木次町) ③平成30年10月13日 ④30,000円 ⑤子どもから大人まで幅広い多世代交流となった。今後も好評だった体験型の文化交流を継続して企画していきたい。
12	釜山島根中学校友好親善交流事業	釜山島根中学校友好親善交流事業実行委員会	①島根県の中学生24名が訪韓し、柔道をとおした国際交流を行なった。また韓国の文化歴史等への理解を深めるとともに、島根の素晴らしさを再認識する機会とした。 ②韓国釜山広域市 ③12月26日～29日 ④200,000円 ⑤当初計画していた相互交流は、韓国側の事情により来県が中止なり残念だった。しかし、訪韓では予想以上の県内中学生の参加者があったことやこの交流に関心を持った釜慶大学の招聘を受けて交流会場を提供していただくなど、釜山と島根の相互の深い理解と友好関係の体制が整った。